

広報調査特別委員会・議会活性化調査特別委員会の中間報告

議会広報に関する調査や、議会の活性化に関する調査を目的に設置されていた2つの特別委員会について、両委員長から総括的な視点で中間報告が行われました。両委員会ともに、委員会設置の目的が一定程度果たすことができたとの報告でした。

広報調査特別委員会 報告内容

- インターネットを活用した議会広報の研究の推進
 - ・本会議のインターネット中継（ライブ・録画）
 - ・政務活動費の収支報告書や議案等に対する各議員の賛否一覧を議会ホームページで公開
- つやま市議会だよりの大幅リニューアルを実施した。
- 議会報告会開催による市民と議会との新たなアクセスポイントの構築を行った。



議会活性化調査特別委員会 報告内容

- 議員定数・議員報酬は市の財政状況を勘案し、今後の議会活動や議員活動のあり方を見定めながら検討を行う。定数については「28名の現状維持」が多数を占め、報酬は現状どおりとすることで意見一致となった。
- 一問一答方式の導入、反問権の付与、議案等に対する賛否公開の実施など、新たな議会運営の取り組みをスタートした。
- 議会報告会は、これまでに5回開催し、延べ18会場で、246人が参加した。



- 議会基本条例については、議会機能の充実や強化を図り、取り組みの実績を積み上げた段階で、条例制定の必要性の機運が高まれば改めて検討することとした。
- 政治倫理の確立を図ることを目的に、「津山市議会議員の倫理に関する条例」を制定した。

宮地市長の平成27年度の施政方針が示されました

3月定例会では、宮地市長の政治姿勢や市政運営についての基本的な考え方、主要施策の一端を明らかにする施政方針が示されました。

施政方針の概要

- 人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを進めることは容易ではなく、かつて経験したことのない様々な困難が待ち構えているが、この逆境を跳ね返すため、勇気と決断力を持って、市民の皆様とともに立ち向かいたい。
- 平成27年は新しい時代を作り出すために挑戦する「地方創生元年」として邁進したい。
- 4つの重要施策：「第5次総合計画の策定」「行財政改革」「成長戦略」「地方創生」